

これからの医療～多職種協働による在宅医療

終の住処を求めて

ケアステーションるぴなす

斎藤内科クリニック

訪問看護ステーション
介護支援事業所の車

さつき調剤薬局

2009年8月

療養病床再編成の概要

2011年度末までに移行

医療保険適用 療養病床	25万床
介護保険適用 療養病床	13万床
計	38万床

2006～2011年度末
経過措置

介護保険
移行準備病床
(医療保険)

経過型
介護療養型
医療施設
(介護保険)

医療保険適用
療養病床 15万床
(平成20年23万床へ)

老人保健施設
有料老人ホーム
高齢者専用賃貸住宅
グループホーム
特別養護老人ホーム
ケアハウス 等
在宅療養支援拠点

23万床

施設転換費用の助成
総額2000億円（予定）

看取りの場所がなくなる

～厚労省老健局鈴木老人保健課課長～2009/07/22
(第3回国際福祉大学総研フォーラム)

- 今は有料老人ホームや高齢者専用賃貸住宅が少ないが、今後爆発的に増やさないと看取る場所がない
- 療養病床の介護老人保健施設への転換、高齢者専用住宅などの増加が必要

2030年時点での看取りの場所に関する推計

- 約165万人の死亡者数
- 医療機関：89万人
- 自宅：20万人（老老世帯や高齢者単独世帯の増加に伴いさらに減少と予測）
- 介護施設：9万人
- その他：47万人（死に場所のない人数）

2020年時点での認知症

- 厚生労働省の推計

85歳以上の老人の 4人に1人 が

認知症

292万人

2008年の診療報酬改定（在宅への誘導）

①がん末期の患者さんへの退院勧奨

～延命治療の中止、緩和ケア、在宅ホスピスケアの推進

②脳卒中患者さんの療養型病棟入院での特定疾患入院管理加算廃止

③障害者施設系入院基本料廃止

④精神病棟における中等度障害患者さんの入院基本料廃止（精神科医の往診勧奨）

⑤夜勤勤務看護加算廃止

⑥療養型病院、老人保健施設以外はすべて在宅扱い

⑦後期高齢者医療制度、かかりつけ医制度の開始

がん対策基本法

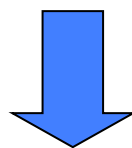
- がん患者の療養生活の質の維持向上
- 第十六条 国及び地方公共団体は、がん患者の状況に応じて疼痛等の緩和を目的とする医療が早期から適切に行われるようにすること、**居宅においてがん患者に対しがん医療を提供するための連携協力体制を確保すること、**医療従事者に対するがん患者の療養生活の質の維持向上に関する研修の機会を確保すること、その他のがん患者の療養生活の質の維持向上のために必要な施策を講ずるものとする。

平成18年6月16日制定

平成19年4月 1日施行

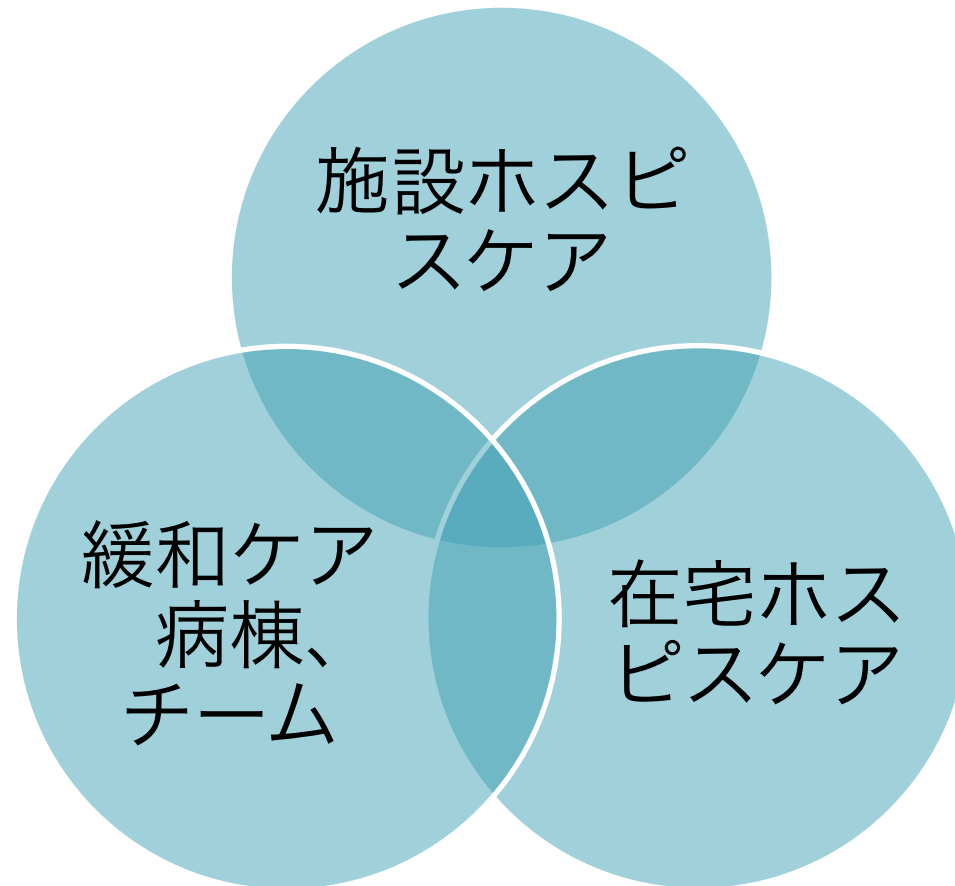
がん対策推進基本計画

治療の初期段階からの緩和ケアの実施



全てのがん患者・家族の苦痛の軽減・
療養生活の質の向上

がん対策基本法



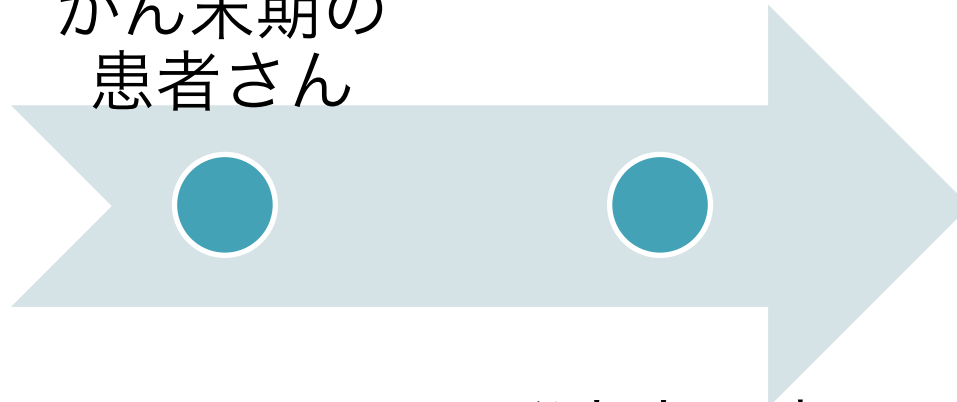
平成18年6月制定
平成19年4月施行

緩和ケア病棟・施設ホスピスの実情

- 看護師と患者さんの比率
1 : 1.5
- 稼働率 70% でありながら 2～3カ月の
待機 (経験ある看護師不足)
- 定額制のため、極力費用のかかる医療は
回避 (一般病棟と緩和ケア病棟を行き来させ、
患者さんの抱え込みを行う施設も出現)
- 2009年4月緩和ケア外来設置義務 (入院患
者さんの一時退院や在宅医との連携勧奨)

在宅関連診療報酬の手厚い改定

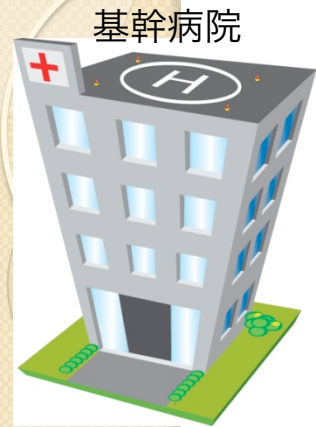
がん末期の
患者さん



脳卒中で療
養型に入院
されている
患者さん

在宅への
誘導

地域で看取れるまちづくり



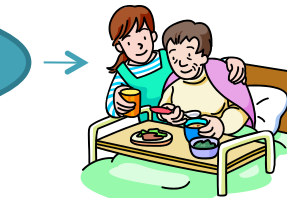
基幹病院

退院時共同カンファレンス

病院スタッフ
在宅医
ケアマネージャー
訪問看護師
訪問薬剤師
ご本人、ご家族

居宅介護支援事業所

ケアマネージャー



ヘルプーステーション

有償ボランティアの関わり
自宅



グループホーム/小規模多機能

診療所

在宅療養支援診療所



訪問看護ステーション



高齢者専用賃貸住宅/有料老人ホーム

緊急時の避難場所

CVポート造設
一時的腹水穿刺



後方支援病院

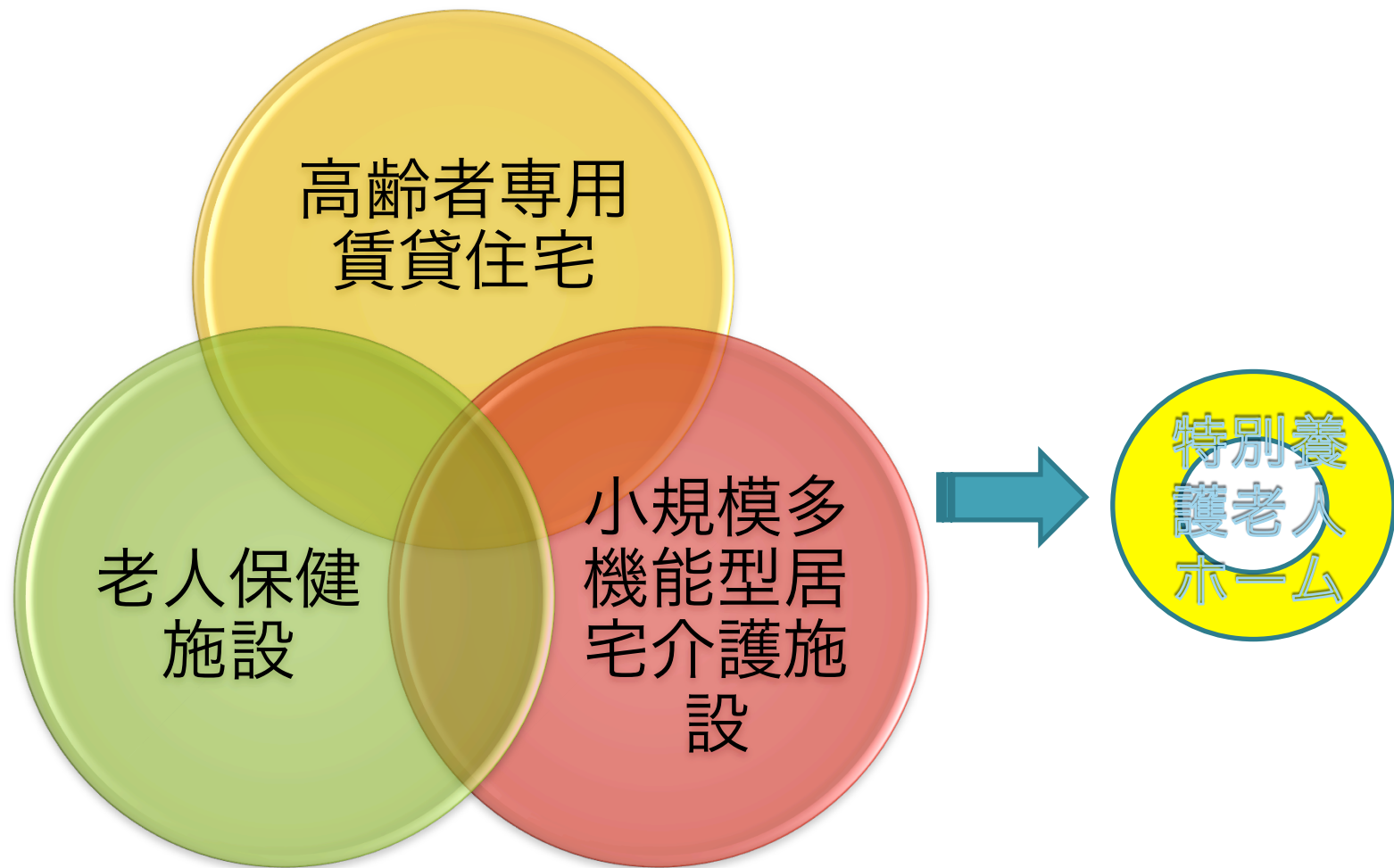


調剤薬局、薬剤センター
訪問薬剤師



特別養護老人ホーム

施設間の協働



2009年2月のある雪の日

これから訪問診療へ出発

斎藤

熊木

八幡

黒井

SAITOH Medical Clinic
斎藤内科
クリニック
☎ 025-287-5800

Lupinus
ケアステーション
るぴなす
■小規模型デイサービスセンター ■小規模多機能型居宅介護施設
☎ 025-257-7141



暮らしから問う

(2)

十月初め、新潟市東区のアパートの一室。年金ではそれほど二人暮らしをする女性へが、交通事故の後遺症という不自由な両膝をさすった。「困るのはこみ出です。訪問ヘルパーの人も朝早くは来てくれない」

この日、往診に訪れた斎藤内科クリニック同市中中央区の斎藤忠雄医師(58)は女性の言葉にあらためて

高齢者福祉

毎日のごみ出し切実

在宅支える態勢整備急務

深刻さを感じ取った。隣近所との関係は薄く、普段から様子を見にくく、人

深刻さを感じ取った。隣近所との関係は薄く、普段から様子を見にくく、人

深刻さを感じ取った。隣近所との関係は薄く、普段から様子を見にくく、人

深刻さを感じ取った。隣近所との関係は薄く、普段から様子を見にくく、人

深刻さを感じ取った。隣近所との関係は薄く、普段から様子を見にくく、人

深刻さを感じ取った。隣近所との関係は薄く、普段から様子を見にくく、人

もない。「毎日のごみ出

もない。「毎日のごみ出

もない。「毎日のごみ出

もない。「毎日のごみ出

もない。「毎日のごみ出

もない。「毎日のごみ出



もない。「毎日のごみ出

もない。「毎日のごみ出

もない。「毎日のごみ出

もない。「毎日のごみ出

もない。「毎日のごみ出



高齢者宅で往診する斎藤忠雄医師(左)。高齢者が自宅で安心して療養できる仕組みづくりが求められている。新潟市中央区

終の住処とは

生

長)

- 居心地の良さ
- 居心地の良い場所

萌気園診療所
黒岩 卓夫 先

(前ゆきぐに大和病院院

平成20年7月在宅ケアを考える集い in 越後 (長岡)

終の住処、ケア（介護・医療）の評価

第16回日本死の臨床研究会関東支部大会（黒岩先生）2009. 6. 14

- 居心地の良さ — 安心 — 家族性
- 居場所の良さ — 仲間 — 地域性
- 今日1日の満足 — 希望 — 精神性

↑
医療のサポート